



3・4年生が福祉体験学習を行いました

6月22日(月)の総合的な学習の時間に、3・4年生が「相手の立場に立って考える」ことをめあてに、福祉体験学習を行いました。

「常金丸学区福祉を高める会」「常金丸学区まちづくり推進委員会」主催のもと、福山市社会福祉協議会、新市福祉会、広島県社会福祉協議会、ゆうゆう金丸のご協力を得て実施されました。

「車いす体験・介助体験」「アイマスク体験・介助体験」「高齢者疑似体験・介助体験」を通して、日常生活の中にある困りごとや、声かけ・手助けの大切さを学びました。

①車いす体験・介助体験

車いすに乗る体験では、少しの段差や坂道でも進みにくいこと、進む方向が分かりにくいことを実感しました。介助する側は、後ろから押すだけでなく「右に曲がります。」「段差があります。」など、事前に伝える声かけの重要性を学びました。



②アイマスク体験・介助体験

アイマスクをして歩く体験では、見えない不安や、音・足元の感覚に頼る難しさを体験しました。介助する側は、腕の取り方や歩く速さを合わせることで、周囲の状況を具体的に伝えることが安心につながると分かりました。



③高齢者疑似体験・介助体験

装具を付けて動く体験では、関節が曲げにくいことや、視野が狭くなること、疲れやすさなどを感じました。介助する際は、急がせず、相手のペースを大切にすることが必要だと学びました。

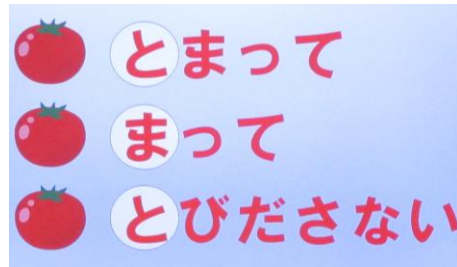


体験後の振り返りでは、「声をかけてから手伝いたい。」「相手が安心できるようにゆっくり説明したい。」などの意見が多く聞かれました。今回の学びを、学校生活や地域での思いやりある行動につなげていきます。

1年生が交通安全教室をしました

6月23日(火)の5時間目に、1年生を対象とした交通安全教室を実施しました。福山市役所生活安全課の方にご協力いただき、道路での安全な歩き方や横断の仕方について学びました。

～「とまと」の約束～この約束を守って、安全に歩いたり、横断歩道を渡ったりしましょう。



また、「信号の見方と青でも左右確認すること」「横断歩道では手を挙げて渡ること」「道路では遊ばず、飛び出しをしないこと」などを、実演を交えながら確認しました。こどもたちは真剣に話を聞き、実際の横断練習にも意欲的に取り組む姿が見られました。



下校時や休日にも安全に過ごせるよう、各ご家庭でも通学路やよく通る道で、「どこで止まる?」「左右は見えただ?」など声をかけながら一緒に確認していただけると幸いです。

引き続き、学校でも繰り返し指導してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。



自転車の交通ルールを確認!

3年生の交通安全教室

6月24日(水)の5時間目に、3年生を対象とした自転車交通安全教室を実施しました。4月1日から自転車の交通違反に対して「交通反則通告制度(青切符)」が導入されたこともあり、改めて交通ルールを確認する必要性を感じています。今回の安全教室を通して、みんなで「3つの約束」を大切にしようとする意識が高まりました。

★3つの約束

- ・スピードを出さない
- ・飛び出さない
- ・ヘルメットをかぶる

整備では、「ブタはしゃべる」を学びました。

教室では、自転車安全利用五則をもとに自転車の安全利用ルールについて、実際に起こった事例をもとに子どもたちと一緒に考えました。中でも、特に「事故に遭ったときは、たとえケガがなくても必ず警察に連絡すること」を繰り返し教えていただきました。また、上映されたDVDを観る際には、自転車事故を自分事として捉え、どの子も真剣な表情で見入っていました



保護者の皆様へ

交通安全教室では、生活安全課の方から「皆さん、自転車保険に入っていますか?」との問いかけがありました。近年、自転車事故による高額な賠償請求の事例が発生しており、自転車保険への加入や見直しの重要性が改めて指摘されています。お知りおきください。